

SICATJMT⁺



SICAT JMT⁺

ソフトウェア取扱説明書 - 日本語

目次

1	はじめに	3
1.1	規則および使用しているシンボル	3
2	インストール	4
2.1	ソフトウェアのシステム要件	4
2.2	SICAT JMT+ ソフトウェアのインストール	4
2.2.1	インストール手順	4
2.3	デバイスドライバをインストールする	6
2.3.1	USBドライバ	6
3	患者データベース	7
3.1	データバックアップ	7
3.2	注意およびナビゲーション	7
3.3	患者	8
3.4	撮影図	9
3.5	機能	10
3.6	患者ファイル/新しい患者	11
3.6.1	プロパティ	12
3.6.2	グループ	13
3.6.3	コメント & テキストブロック	13
3.7	撮影図の詳細	15
3.8	患者/測定データのバックアップ	16
3.9	データバックアップの復元	18
3.9.1	データフォーマット	20
3.10	プログラム設定	20
3.10.1	一般設定	21
3.10.2	エクスポート設定	21
3.10.3	カードリーダー	22
4	機器の設定	24
5	顎機能の測定	28
5.1	測定準備 (測定の設定)	28
5.2	測定準備 (患者)	30
5.3	測定を実行する (測定モード)	31
5.4	測定を編集する (表示モード)	35
5.4.1	基本事項	36
6	トラブルシューティング	39
6.1	一般	39
	用語集	40
	索引	41
	お問い合わせ先	42

1 はじめに

SICAT JMT⁺ ソフトウェアの取扱説明書へようこそ。本取扱説明書は、ソフトウェアを操作するための基本知識を提供します。インストールの手順を説明し、測定およびデータ取得の準備に関する提案をします。

技術的な取扱説明書に含まれている安全に関する情報も確認し、すべてのマニュアルを測定システムのすぐ近くに保管してください。これらのマニュアルは本製品の基本的な構成要素であり、測定システムを適切に使用するためのものです。

SICAT GmbH & Co. KG は、マニュアルに記載されている情報を守らなかった、あるいは測定システムの誤用が原因で生じた関係者または患者の負傷、あるいはシステムの損傷に対する責任を負いかねます。

取扱説明書を参照しながら作業している時に故障が発生した場合、あるいは何かお気づきの点がある場合は、いつでもご連絡ください。

登録商標

本取扱説明書では、様々なブランド名が言及されています。これらの製品名はすべて、明確にする目的で、編集上の理由から使用しているだけであり、それぞれの企業の登録商標ではありません。ブランド名の使用によって、registrat商標自体、ならびに各所有者の権利が侵害されることはありません。

1.1 規則および使用しているシンボル

本取扱説明書では、次の規則が使用されています。

警告は次のように識別表示されます。



警告注意事項ユーザー/患者の健康および安全に対する潜在的な危険を示しています。これらの警告は、危険のタイプおよびこれを防止する対策について説明しています。

注意は次のように識別表示されます。



これらの注意事項は、機器が損傷する恐れのある潜在的な危険を示しています。これらの注意事項は、危険のタイプおよびこれを防止する対策について説明しています。



測定の実施に関する注意は、そのように識別表示されます。本取扱説明書は、ユーザーがいつでも記載されている情報を確認できるように保管してください。

変更事項に関する備考

製品の品質を保証するために、当社は常に製品ラインを改善していく努力をしております。場合によっては、本取扱説明書の印刷後にソフトウェア/ハードウェア構成が更新されることがあります。そのため、一部の図が実際に納品されるものと異なる場合があります。



リリースではユーザーには関係ない技術上の変更が行われることが多いため、ソフトウェアがリリースされる度に本取扱説明書の新しいバージョンが発行されることにはご注意ください。取扱説明書の最新版は、当社のホームページのサービスエリアからダウンロードすることができます。

2 インストール

2.1 ソフトウェアのシステム要件

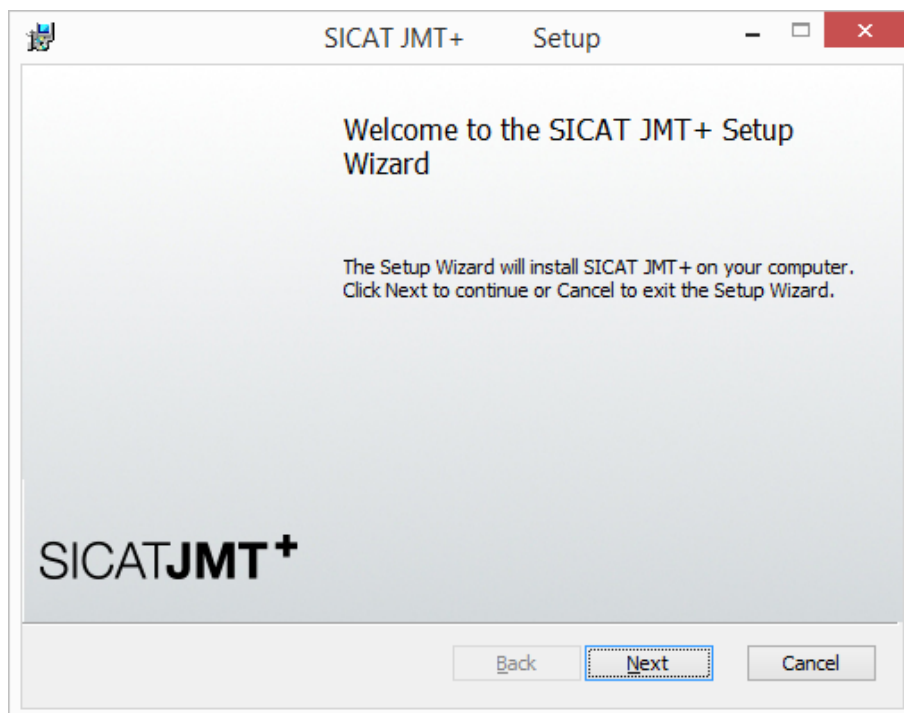
- CPU : Intel Core2Duo (または同等のもの) 、 2.0GHz以上
- メインメモリ : 4GB DDR2 RAM
- 3D対応グラフィックカード : 512 MB以上、OpenGL 3.3、DirectX 9.0c (Geforce GT 420/315M、AMD Radeon HD 6000/M Series参照)
- カラーモニター、1280x800 ピクセル以上
- オペレーティングシステム :
 - Windows 7 64/32bit
 - Windows 8 64/32bit
 - Windows 8.1 64/32bit

2.2 SICAT JMT+ ソフトウェアのインストール

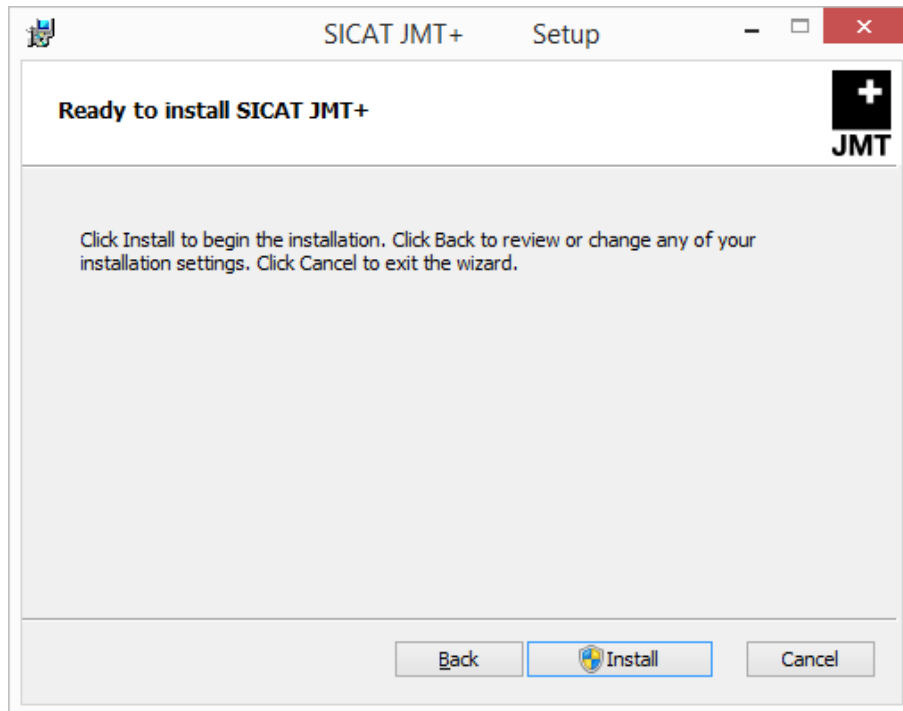
2.2.1 インストール手順

あなたには、SICAT JMT+ ソフトウェアをインストールするコンピューターの管理者権限があります。

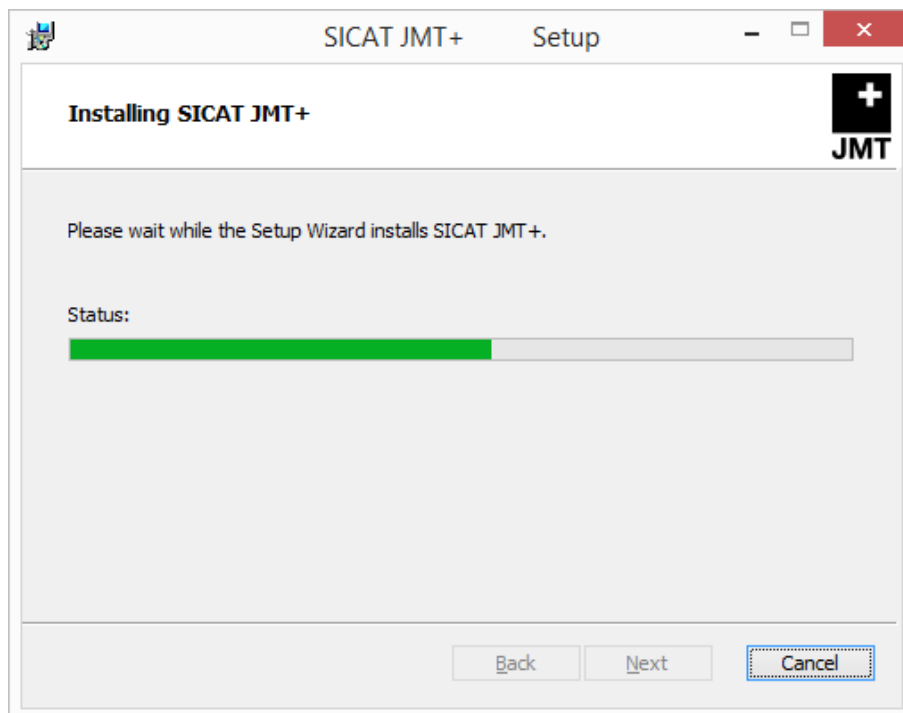
1. ファイル名にSICAT JMT+ ソフトウェアのバージョンが含まれるファイル **sicat_jmt+.exe** をダブルクリックします。



- その後、**次へ** ボタンをクリックして、インストールを開始します。

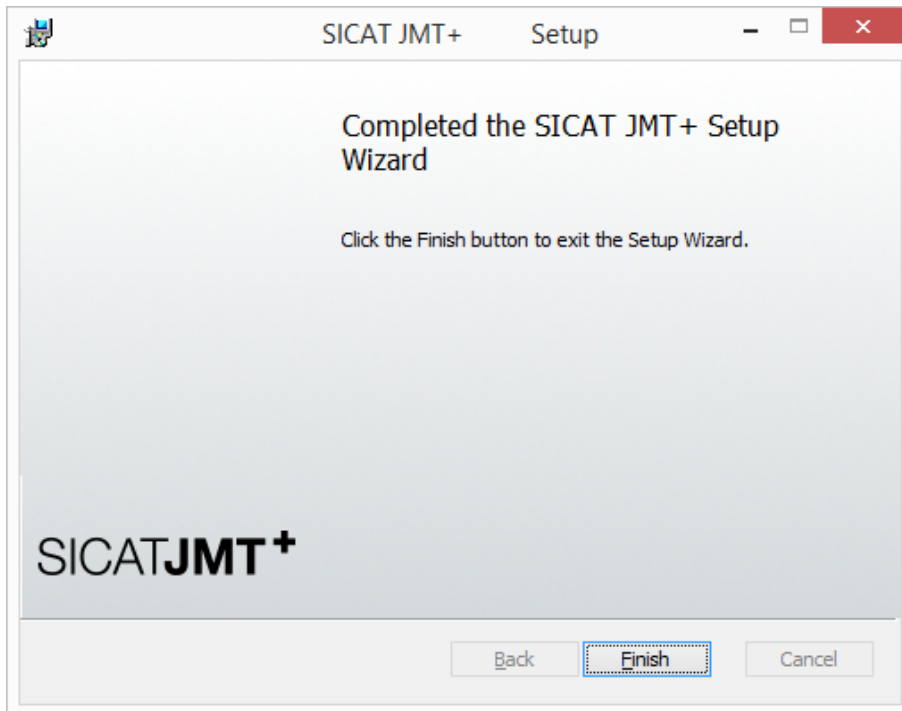


- インストール** ボタンをクリックしてインストールを開始し、ユーザーアカウント制御のメッセージを確認します。



- ▶ インストールに数分間かかる場合があります。

- ▶ インストールが完了すると、次のウインドウが表示されます。



4. **終了** ボタンをクリックして、インストールを終了します。

- ▶ これで、ソフトウェアはインストールされています。**SICAT JMT+** と記されたアイコンがデスクトップに作成されています。ソフトウェアを起動するには、このアイコンをダブルクリックするか、**すべてのプログラム > SICAT > SICAT JMT+** から起動することができます。



インストール中に、グラフィックハードウェアがOpenGL 3.3に対応していないことを通知するメッセージが表示された場合、そのコンピュータではソフトウェアを使用できない可能性があります。この場合、グラフィックドライバーをアップデートすると、解決できることがあります。

2.3 デバイスドライバーをインストールする

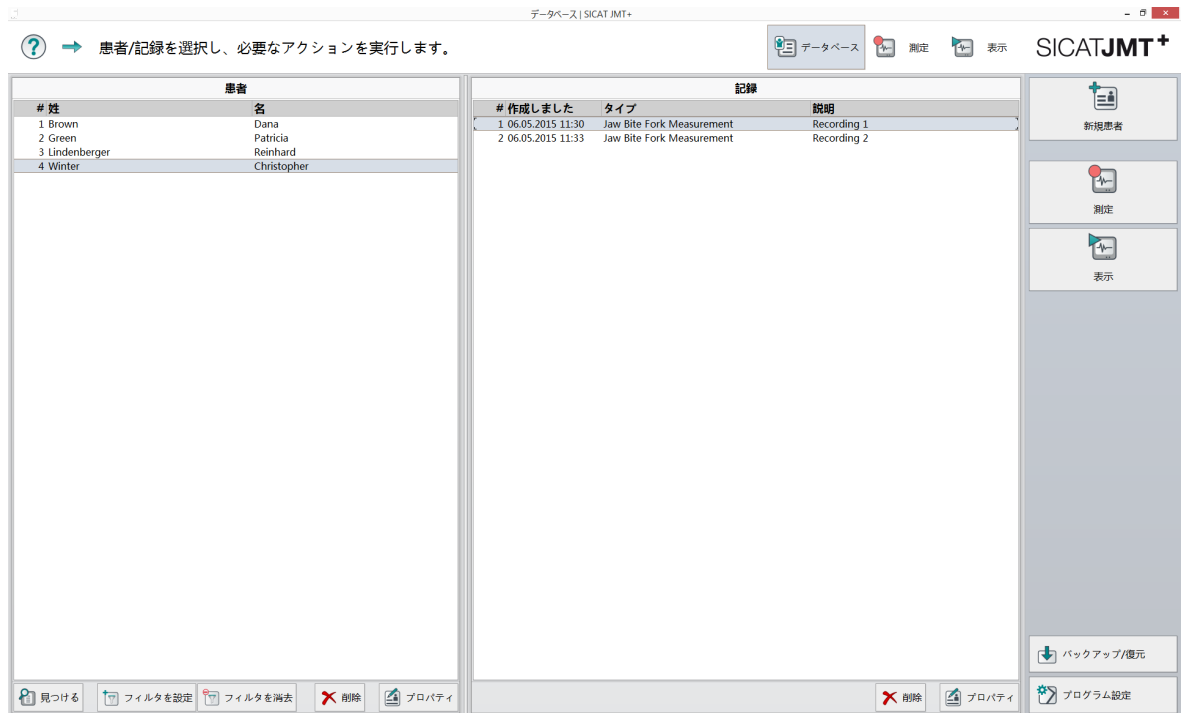
- デバイスドライバーは、SICAT JMT+ 測定システムを接続すると、自動的にインストールされます。

2.3.1 USBドライバー

SICAT JMT+ 測定システムに必要なUSBドライバーは、機器を接続すると、Windowsによってバックグラウンドでインストールされ、特別な操作は必要ありません。

3 患者データベース

プログラムのタイプによっては、患者データベースにアクセスしています。



ここでは、患者および既存の測定結果を管理し、インポート/エクスポート機能にアクセスできます。次に、ユーザーインターフェースの詳細な説明を記載します。

3.1 データバックアップ



警告

SICAT GmbH & Co. KG (メーカー) は、データバックアップに関してはユーザーご自身に責任があることを明確にお伝えしております。さらに、SICAT は患者データのバックアップを定期的作成することを推奨しています。SICAT JMT+ のデータベースはユーザーデータディレクトリにあります。

- Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 : C:\ProgramData\SICAT\¥sicat_JMT

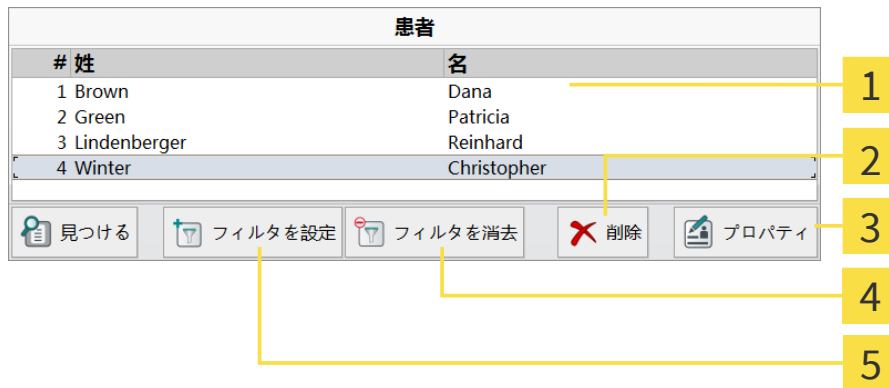
3.2 注意およびナビゲーション



1 注意 - ソフトウェアの操作に関するヘルプおよびガイド

2 ナビゲーション - ここには、現在開いているプログラムのセクションが表示されます。アクティブなセクションは背景色で強調表示されています。

3.3 患者



- 1 患者** - リスト - ここには、患者がリストアップされます。現在選択している患者は背景色で強調表示されています。
- 2 削除** - 別個に確認すると、その患者は割り当てられている測定と共に完全に削除されます。
- 3 患者ファイルを編集する** - プロパティ をクリックすると、患者ファイルが開きます（患者ファイル/新しい患者 [▶ ページ 11] を参照）。
- 4 すべての患者を表示する** - フィルターをオフにする をクリックすると、フィルターがリセットされます。
- 5 フィルターをオンにする** - フィルター設定 ウィンドウが開いた後、フィルターを作成して、患者リストに特定の患者のみ表示させることができます。

フィルター設定

- 1 氏名 - 患者の名前または名前の一部
- 2 性別 - 患者の性別
- 3 以降に誕生 および 以前に誕生 - 患者が生まれた後または前の日付。
- 4 コードの内容 - 検索する患者の患者コードまたはコードの一部
- 5 グループ - グループのリスト
- 6 中止する - フィルター設定 ウィンドウが閉じ、変更されたフィルターは適用されません。
- 7 OK - フィルターが患者リストに適用されます。

3.4 撮影図

記録		
# 作成しました	タイプ	説明
1 06.05.2015 11:30	Jaw Bite Fork Measurement	Recording 1
2 06.05.2015 11:33	Jaw Bite Fork Measurement	Recording 2

- 1 撮影図 リスト - ここには、選択した患者の撮影図がリストアップされます。現在選択している撮影図は背景色で強調表示されています。
- 2 削除 - 別個に確認すると、選択した測定結果は完全に削除されます。
- 3 プロパティ - ここでは、撮影図に関する説明およびコメントを編集します(「[撮影図の詳細](#)」を参照)。
▶ ページ 15]

3.5 機能



- 1** 新しい患者 - 新しい患者を作成する時は、これをクリックします。
- 2** 測定する - クリックすると、測定アプリケーションの選択に移動します。
- 3** ビュー - 現在選択している測定が、表示および編集のために開きます。

3.6 患者ファイル/新しい患者

新しい患者を作成する、または既存の患者のファイルを編集する場合（新しい患者 または プロパティ ボタン）、次のダイアログが表示されます。

→ 新しい患者のプロパティをここに入力します。

プロパティ		割り当てられたラベル
名*	<input type="text"/>	<div style="border: 1px solid gray; height: 200px;"></div> <div style="text-align: right; padding-right: 5px;"><input type="button" value="加える"/></div>
姓*	<input type="text"/>	
性別*	<input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性	
生年月日*	<input type="text" value="dd.mm.yyyy"/> <input type="button" value="📅"/>	
コード	<input type="text"/>	
番地	<input type="text"/>	
都市	<input type="text"/>	
郵便番号	<input type="text"/>	
State	<input type="text"/>	
国	<input type="text"/>	
Work phone	<input type="text"/>	
Home phone	<input type="text"/>	
* - 必須フィールド		

コメント	クリップ
<div style="border: 1px solid gray; height: 150px;"></div>	Paint patient <div style="border: 1px solid gray; height: 100px;"></div>
<input type="button" value="クリップを保存"/>	<input type="button" value="クリップを貼り..."/> <input type="button" value="削除"/>

次に、個々のエリアおよびその機能について簡単に説明します。

3.6.1 プロパティ

名*	Christopher
姓*	Winter
性別*	<input checked="" type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性
生年月日*	01.01.1981 dd.mm.yyyy 
コード	54187871
番地	
都市	
郵便番号	
State	
国	
Work phone	
Home phone	

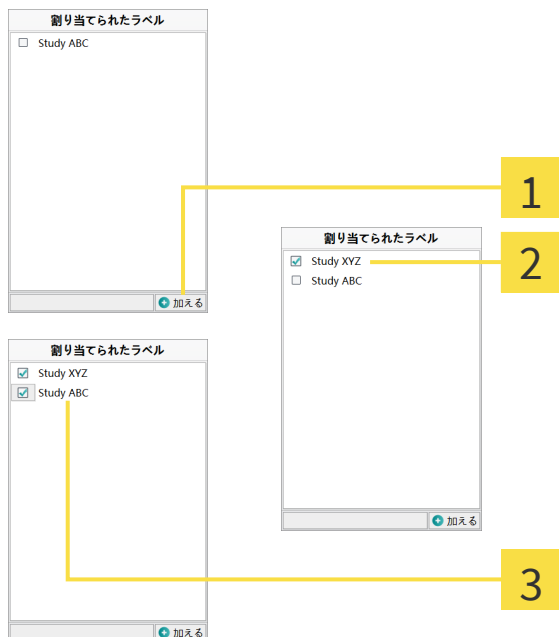
* - 必須フィールド

プロパティ - ここに患者データを入力します。氏名、性別、生年月日は必須欄です。

コード 欄では、患者記録に明確なコードを割り当てることができます。その他のランはオプションで、患者のデータ収集に使用します。

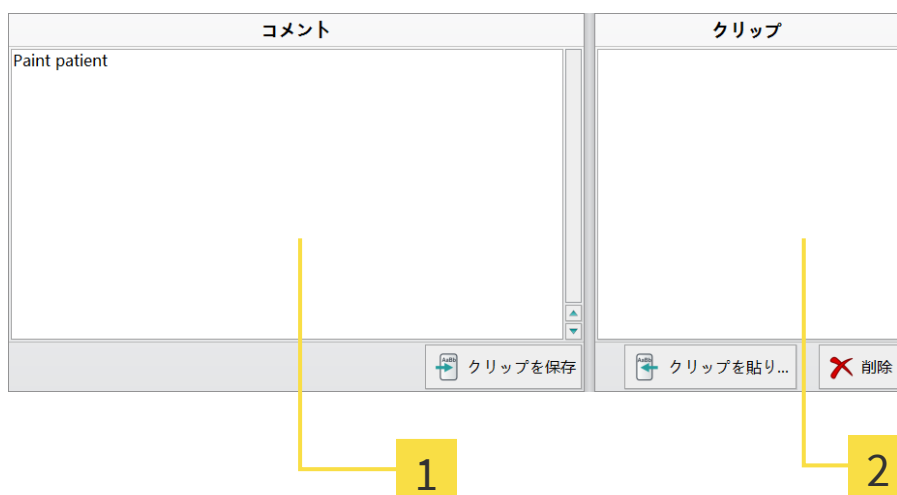
3.6.2 グループ

この欄では、患者にグループを割り当てることができます。そうすると、データベースに特定のグループの患者のみ表示させることができます。



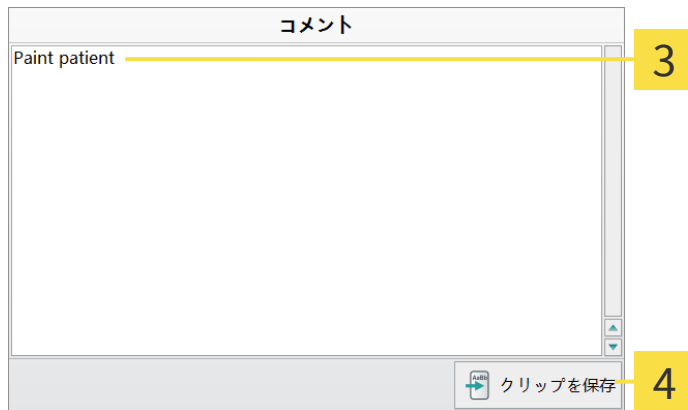
- 1** 新しいグループを作成する - 新規作成したグループの名前をここに入力し、**追加する** ボタンをクリックします。
- 2** 新規作成されたグループがリストに表示されます。グループの前にあるチェックマークは、患者がこのグループに割り当てられていることを示しています。
- 3** 患者に複数のグループを割り当てる - チェックを入れることにより、割り当てを実行または取り消すことができます。患者が一人も割り当てられていないグループは、ダイアログを終了すると、自動的に消えます。

3.6.3 コメント & テキストブロック



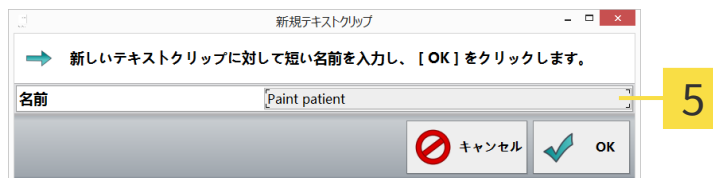
- 1** コメント - ここに、この患者に関するコメントとして任意のフリーテキストを書きます。
- 2** テキストブロック - このリストには、あなたが定義したすべてのテキストブロックが含まれます。

テキストブロックを作成する



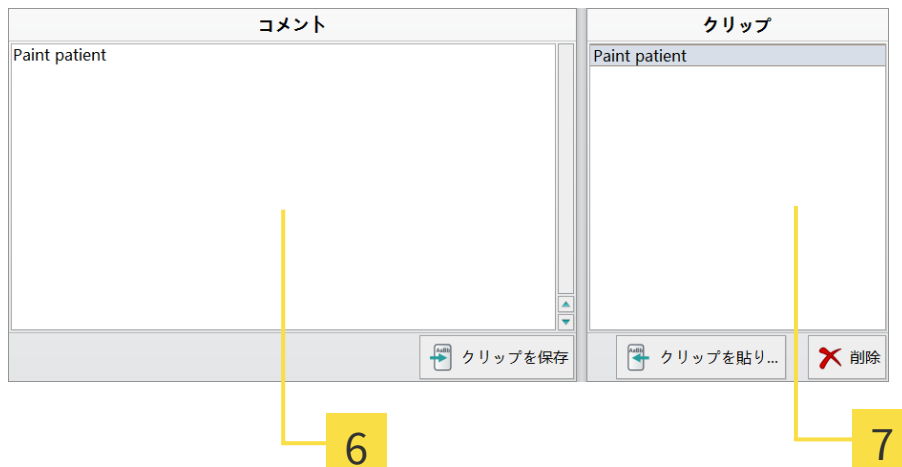
3 テキストにマークを付ける - コメント 欄で、テキストブロックとして適用するテキストの一部にマークを付けます。

4 保存 - マークを付けたテキストの一部をテキストブロックとして適用するには、**保存** ボタンをクリックします。



5 新しいテキストブロック - このダイアログでは、テキストブロックの名前を定めることができます。ここでは、選択したテキストは自動的に提案として取り込まれます。**OK** をクリックすると、テキストブロックが作成され、確定された名前でもリストに表示されます。

テキストブロックを挿入する



6 カーソル位置を確定する - 左クリックで、カーソルをテキストブロックを挿入する場所に置きます。

7 選択したテキストブロックを挿入する - 左クリックで リストからテキストブロックを選択し、**挿入する** ボタンをクリックして、そのテキストブロックをコメント欄における現在の位置に取り込みます。

3.7 撮影図の詳細

このダイアログは、撮影図リストの右下にある **プロパティ** ボタンをクリックして呼び出します。撮影図の説明を変更したり、撮影図にコメントを追加したりすることができます(「コメント & テキストブロック [▶ ページ 13]」を参照)。テキストブロックはそれとは別に、患者ファイルに保存されます。

プロパティを記録

→ 記録のプロパティをここで編集します。

プロパティ

タイプ	Jaw Bite Fork Measurement
作成しました	06.05.2015 11:30
説明	Recording 1

コメント

Comment 1

クリップ

- Clip 1
- Clip 2
- Clip 3

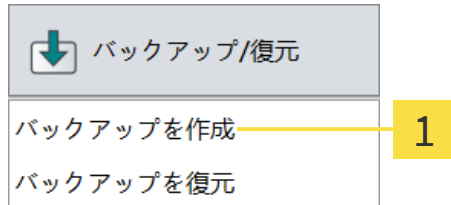
クリップを保存 クリップを貼り... 削除

キャンセル OK

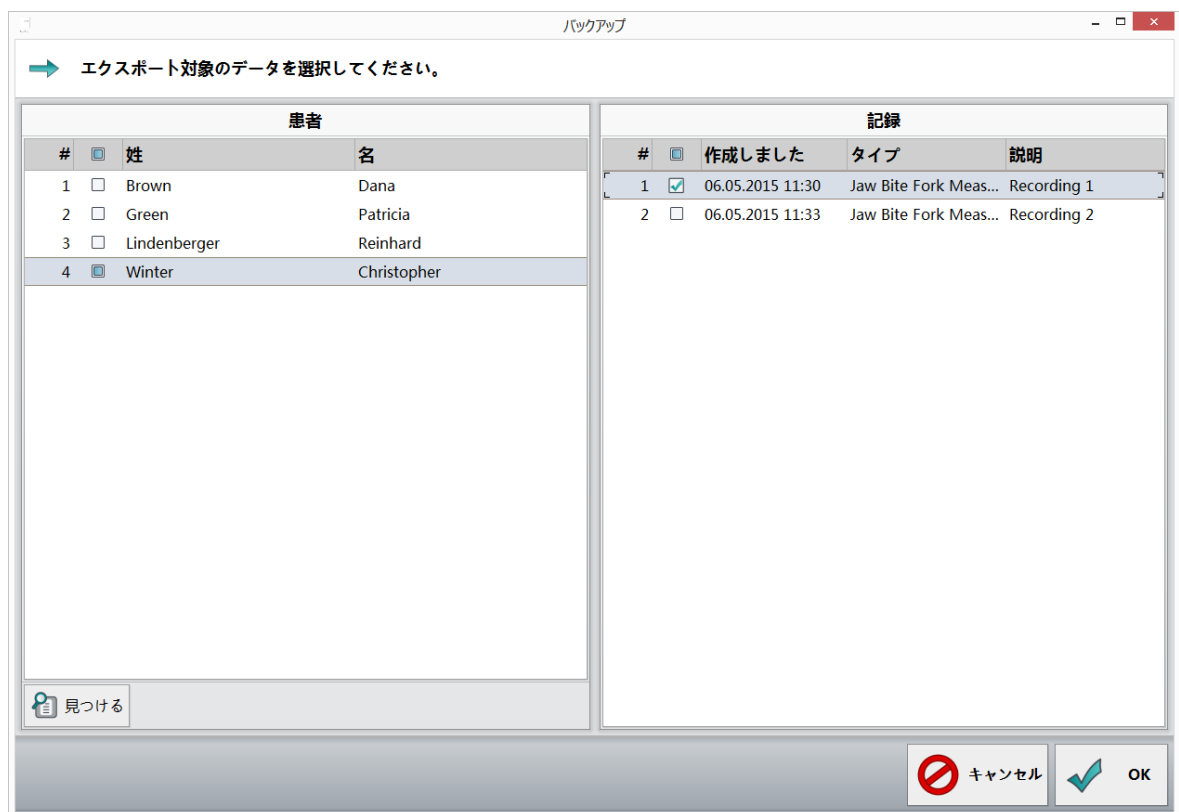
3.8 患者/測定データのバックアップ

患者データベースの患者/測定データのバックアップを取ることができます。バックアップされたデータは、**バックアップから復元する** 機能で再びデータベースに追加することができます。

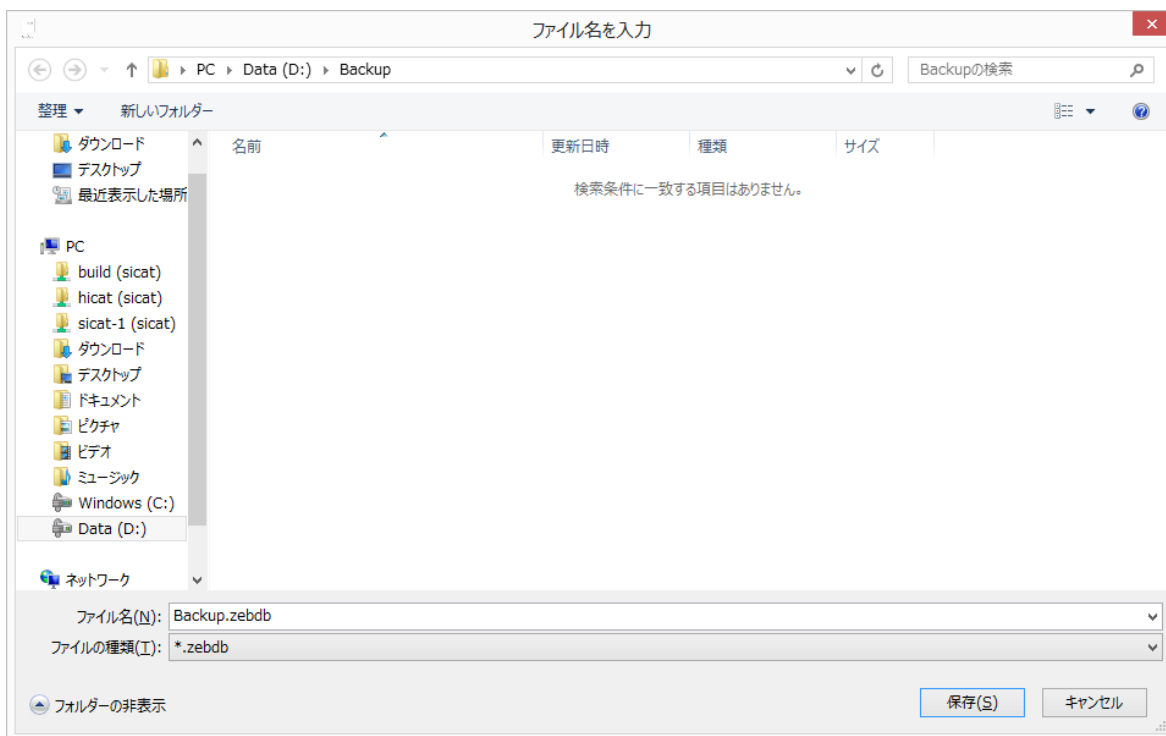
この機能により、例えば、SICAT JMT+ で作業している同僚と個々のデータセットを交換することができます。



1. **バックアップを作成する...** - 右下にある機能バーの **バックアップ/復元** ボタンをクリックします。次に、表示されたリストから **バックアップを取る** を選択します。



2. **データセットを選択する** - エクスポートする全データセットの前にチェックを入れます。一人の患者の全測定結果をエクスポートするには、患者名の前にチェックを入れます。患者名が記載されている行をクリックすると、右側にその患者の全測定結果が表示されます。その後、これらの測定結果は個別に選択することもできます。特定の患者をファイルのエクスポート用に検索するために、検索オプションがあります。



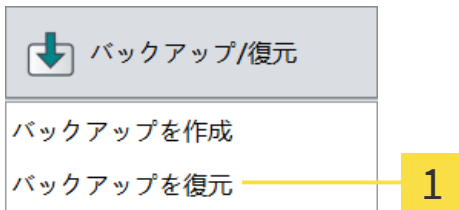
3. **エクスポート先フォルダを選択する** - ハードディスク上の、エクスポートしたファイルを保存する場所に移動します。名前を付け、**保存** をクリックしてデータ選択に移動します。



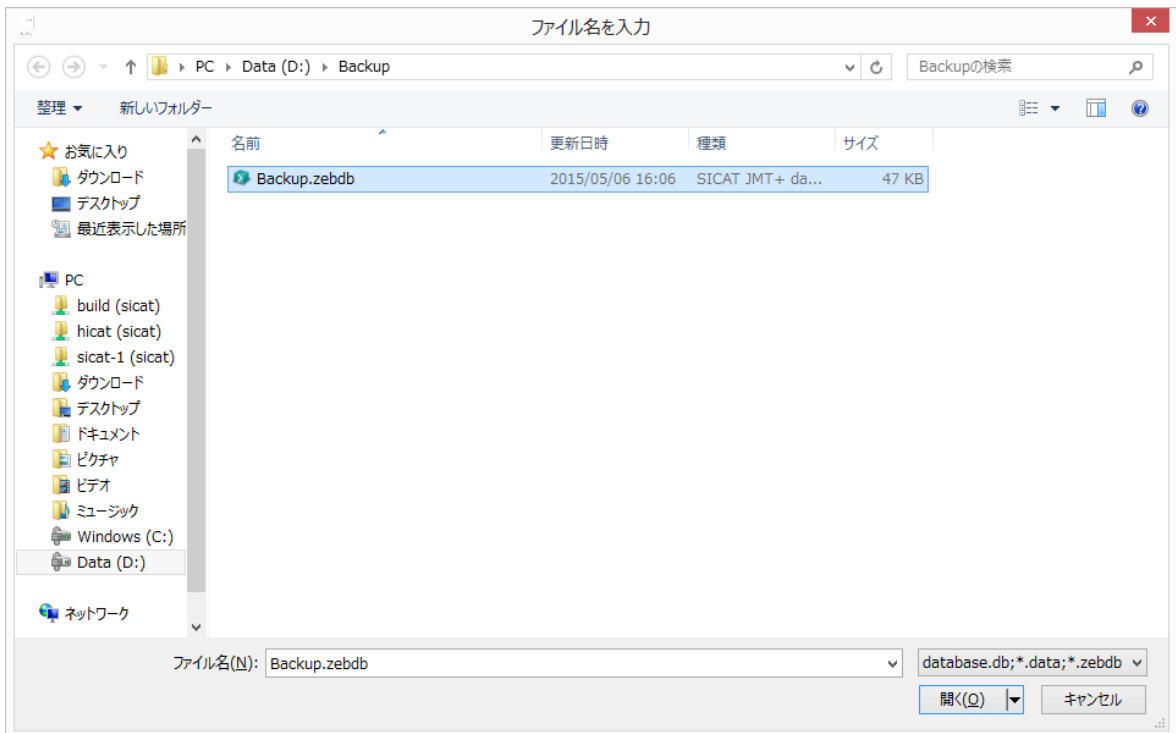
データバックアップは自動で行われませんのでご注意ください。

3.9 データバックアップの復元

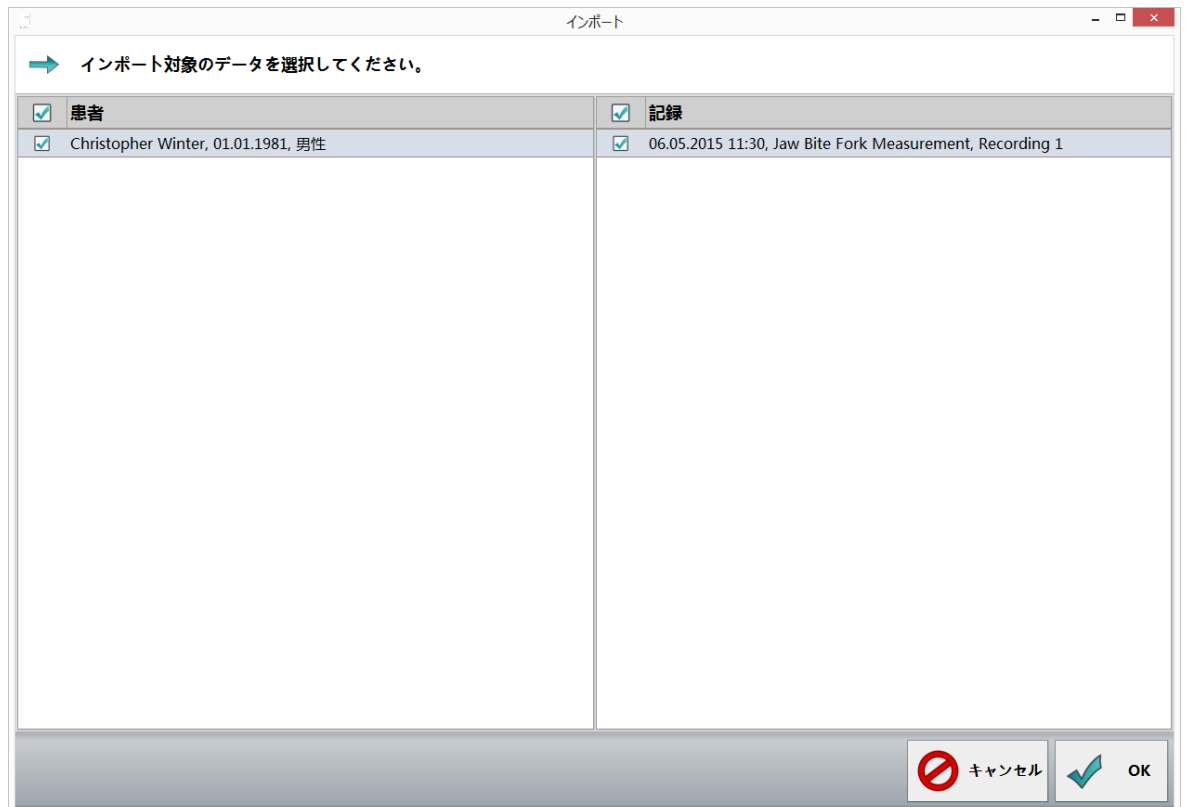
患者/測定データのバックアップをデータベースに送信することができます。以下に正確な手順を説明します：



1. バックアップから復元する... - 右下にある機能バーの **バックアップ/復元** ボタンをクリックします。次に、表示されたリストから **バックアップから復元する** を選択します。



2. データを検索して選択する - ハードディスク、またはPCに接続している別の記憶媒体で、インポートするデータセットを検索します。選択するファイルは、フォーマットによって異なります。詳細は データフォーマット [▶ ページ 20] を参照してください。



3. データセットを選択する - インポートする全データセットの前にチェックを入れます。データバックアップから全ての患者を転送するには、最初の列で **患者** にチェックマークを入れます。一人の患者の全測定結果をインポートするには、患者名の前にチェックを入れます。患者名が記載されている行をクリックすると、右側にその患者の全測定結果が表示されます。その後、これらの測定結果は個別に選択することもできます。



4. **ファイルインポートの要約** - データのインポートが終了すると、インポートされた患者の人数および測定結果の数量の要約が記載されたダイアログが表示されます。リストには、作成済みなのにインポートされなかった不具合のあるデータセット、患者、測定結果が表示されます。



エラー/重複 - インポート中にエラーが発生した、またはすでにデータベースに存在するデータセットをインポートしようとした場合、該当する注意事項が記載された要約が表示されます。

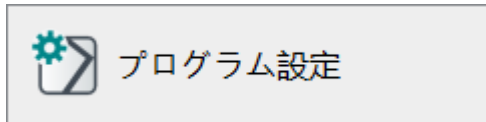
3.9.1 データフォーマット

- **.zebdb** - 古い、または新しいソフトウェアパッケージからデータをインポートする場合、拡張子が **.zebdb** の該当するファイルを選択するだけで構いません。

3.10 プログラム設定

ここでは、言語を変更したり、カードリーダーの設定を行ったりすることができます。

3.10.1 一般設定



1. プログラム設定 - 右下の機能バーでこのボタンをクリックします。



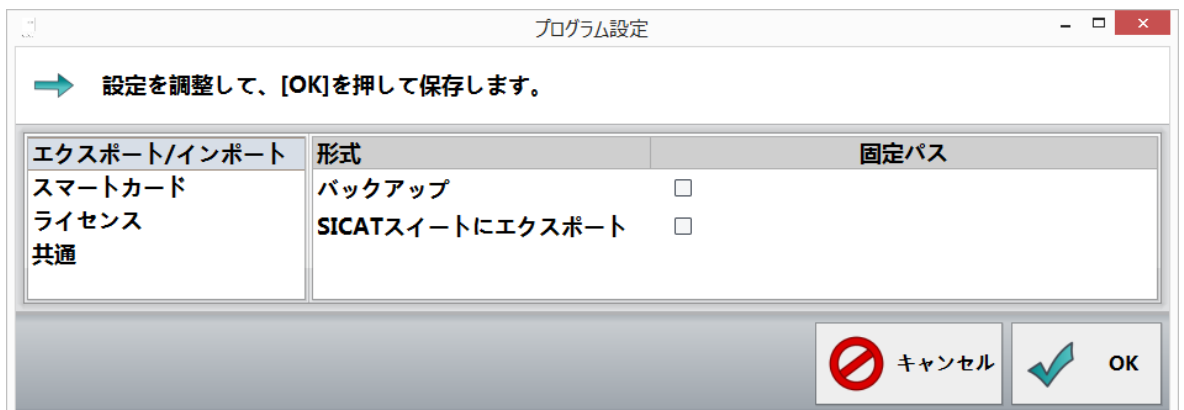
2. 一般設定を選択する - 左側にある **一般** をクリックします。

言語 - リストからプログラムインターフェースの希望の言語を選択します。

拡大係数 - この係数は、ソフトウェアの全表示エレメントのサイズを決定します。入力欄に独自の値（単位：dpi）を入力する場合は、**ユーザー定義** を選択します。**画面の高さに対する比率** dpi設定の代替値として使用します。**システム設定を利用する** は値をWindows標準設定にリセットします。

3.10.2 エクスポート設定

1. プログラム設定 - 右下の機能バーでこのボタンをクリックします。



2. エクスポート設定を選択する - 左側にある **エクスポート** をクリックします。

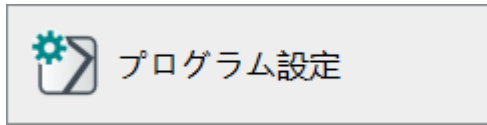
バックアップ - チェックボックスにチェックを入れ、データバックアップ用の任意のディレクトリを選択します。

SICAT Suite にエクスポートする - チェックボックスにチェックを入れ、SICAT Suiteにエクスポートするための任意のディレクトリを選択します。

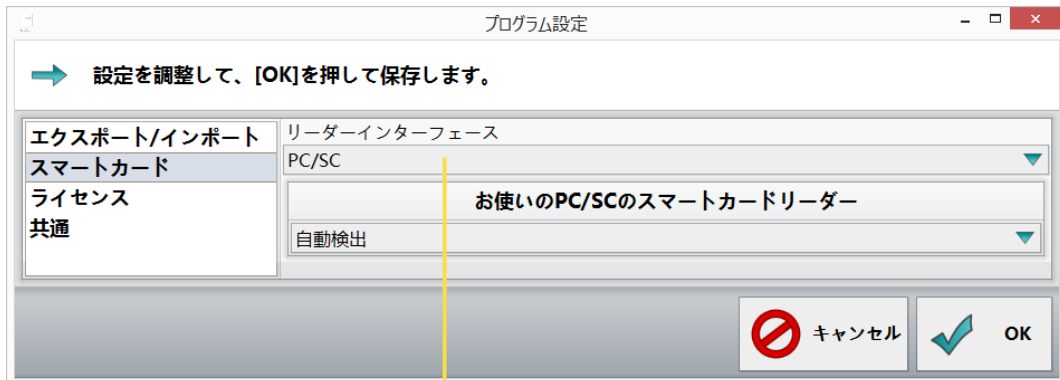
3.10.3 カードリーダー

ここでは、KVKまたはeGKを利用するためのカードリーダーを取り付けることができます。そのためには、eGKではSmartCard-Reader、KVKには専用リーダー（ドイツメーカーのCherry社製チップカードキーボード）が前提となります。

旧保険証（KVK）は、CT APIドライバーがなければ使用できません。



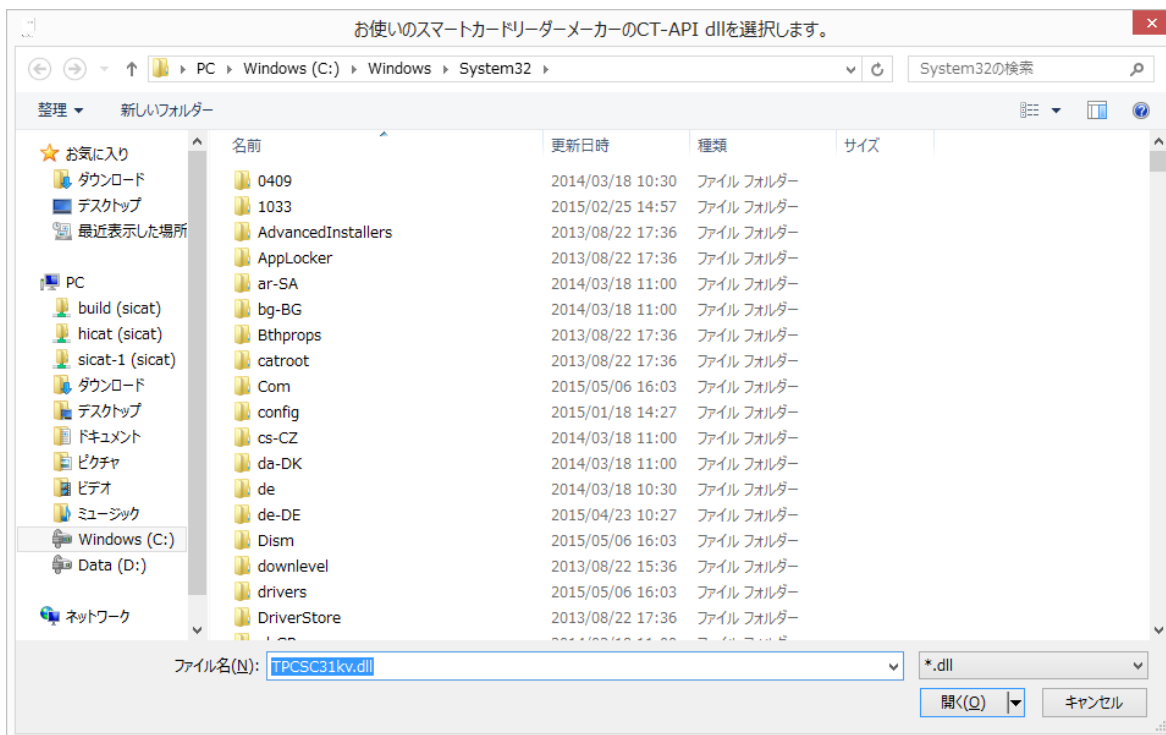
1. 右下の機能バーにある **プログラム設定** ボタンをクリックします。



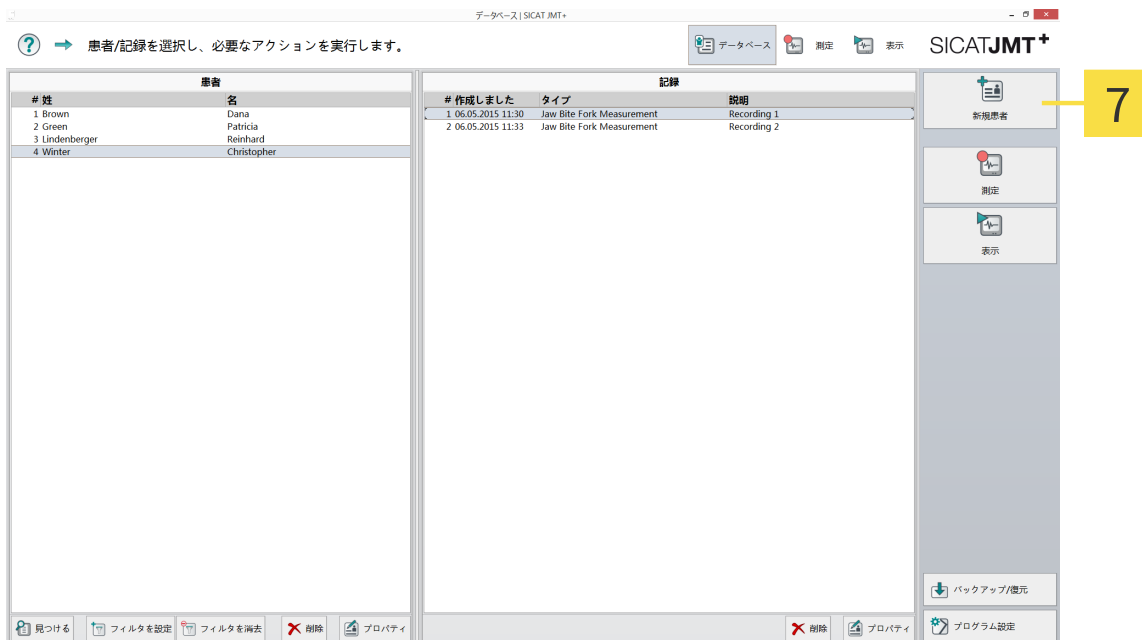
3

2. ページの左側で **カードリーダー** を選択します。
3. **インターフェースを選択する** - ページの右側で、KVKまたはdie eGKを読み込むインターフェースまたは機器を選択します（eGKにはPC/SC、KVKおよびeGKにはCT-API）。PC/SCを選択した場合、**閉じる** で確認します。

4. **CT-API** - CT-APIは、KVKとeGKの両方を読み込むことができます。Cherry社の EHEALTH-BCS キーボード G87-1504のドライバーにプリセットされています。**閲覧する** をクリックして、使用するCT APIドライバーの該当するd11ファイルを選択します。



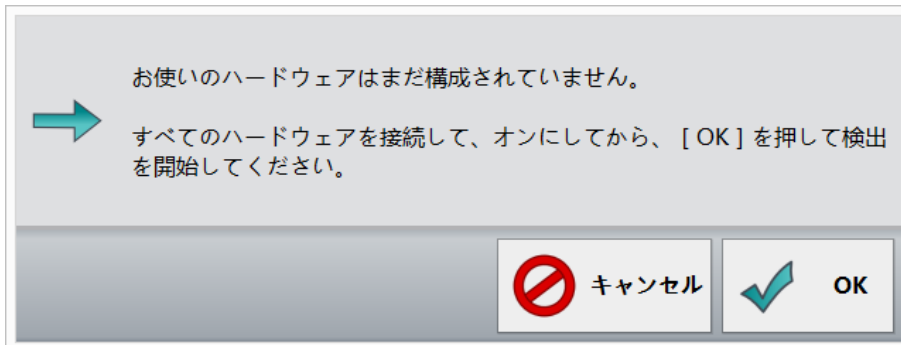
5. **ドライバーd11**を選択する - ハードディスク上で該当するCT APIドライバーを選択します。詳細については、カードリーダーメーカーの取扱説明書を参照してください。



6. **カードを挿入する** - リーダーにカードを挿入します。
7. **新規患者ファイルを作成する** - 新しい患者 ボタンをクリックすると、カード上で自由に閲覧できる情報は自動的に患者ファイルの該当する欄に挿入されます。

4 機器の設定

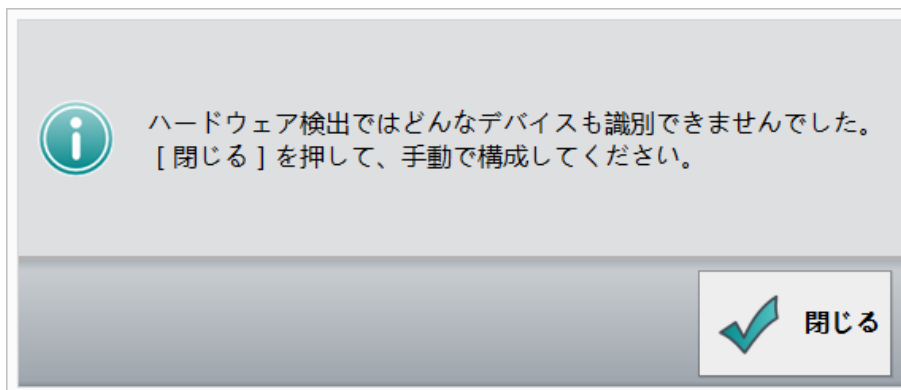
機器が利用できるようになる前に、機器のプロファイルを作成する必要があります（つまり、一つのグループに一つ以上の機器）。この機能は、**機器の設定** の右下にある **測定する** ボタンをクリックすると表示されます。



機器の自動認識 - すべての機器を、測定に使用するPCに接続します。OK をクリックして確認します。



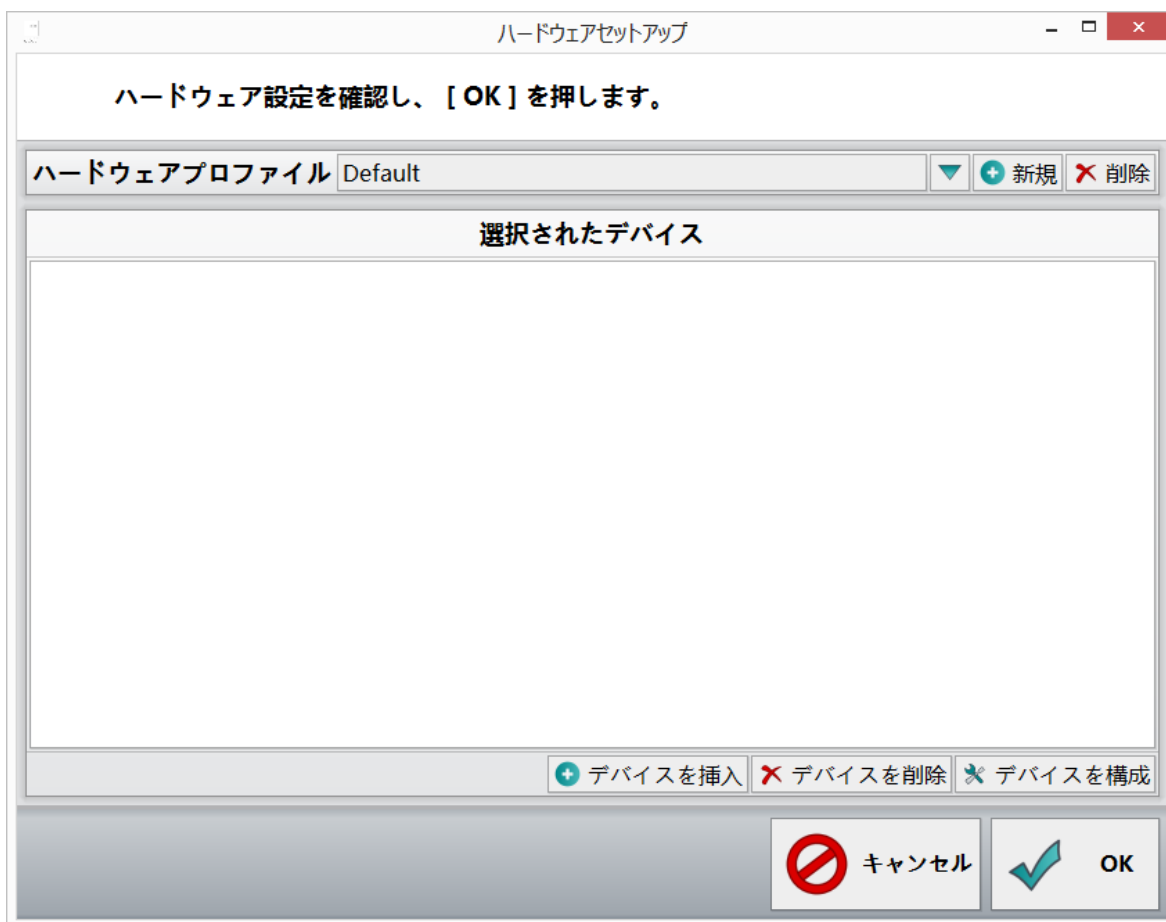
機器認識成功 - 機器が表示されます。



機器認識失敗 - 機器が認識されませんでした。それでも、これらの機器がすでに接続されている場合、電源を確認してください。

閉じる ボタンをクリックすると、手動で機器にプロファイルを追加することができます。

機器を手動で選択する



1. 機器のプロファイルを作成する - 機器を追加する ボタンをクリックします。

- ▶ 新しいウィンドウが開きます。



2. **機器を追加する** - このダイアログウィンドウには、認識され（ライセンスが承認された）機器がすべて表示されます。自分のプロフィールに追加する機器を選択し、**OK** をクリックします。測定に使用する機器がすべて追加されるまで、この手順を繰り返します。



3. **完了したプロフィール** - 測定に使用するすべての機器をプロフィールに追加すると、**機器のプロファイル** の後ろにある入力欄に名前を割り当てることができます。
4. 続いて、**OK** をクリックします。

5 顎機能の測定

このソフトウェアでは、SICAT JMT+システムと連携して顎運動の記録を実行します。

5.1 測定準備（測定の設定）

ジョーポジション			
1 習慣的な閉塞	<input checked="" type="checkbox"/>		
2 安静位	<input checked="" type="checkbox"/>		
3 顎関係	<input checked="" type="checkbox"/>		
		加える	削除
		上に移動	下に移動
顎運動			
1 ライブプレビュー	<input checked="" type="checkbox"/>		
2 左側	1	-	+
3 右側	1	-	+
4 突起	1	-	+
5 オープニング	1	-	+
6 チューインガム	0	-	+
		加える	削除
		上に移動	下に移動

下顎の位置 では、個々の点を記録できます。顎の動き の設定により、ライブプレビュー が有効になり、測定の動作が設定されます。

設定

保存取得プロフィール
負荷取得プロフィール
構成のエクスポート
負荷の設定
コンフィギュレーション

設定 により、異なる測定手順設定を保存および呼び出すことができ、個々の名前を付けることによって区別することができます。そうすると、これらはいつでも様々な測定方法に引用することができます。メニューガイドをスタートさせるには、左下にある **設定** ボタンをクリックします。

測定プロファイルを保存する

測定設定を任意の名前で保存するには、**測定プロファイルを保存する** をクリックします。

測定プロファイルをロードする

既存の測定プロファイルを使用するには、**測定プロファイルをロードする** をクリックします。**デフォルト** 設定により、測定設定を基本設定に戻すことができます。

設定をエクスポートする

一つまたは複数の測定プロファイルを希望の場所にエクスポートするには、**設定をエクスポートする** を選択します。

設定をロードする

ソフトウェア用のバックアップまたは設定パッケージをインポートするには、**設定をロードする** を選択します。パス検索により、希望のパッケージを事前に定義された測定プロファイルと共にロードすることができます。

5.2 測定準備（患者）

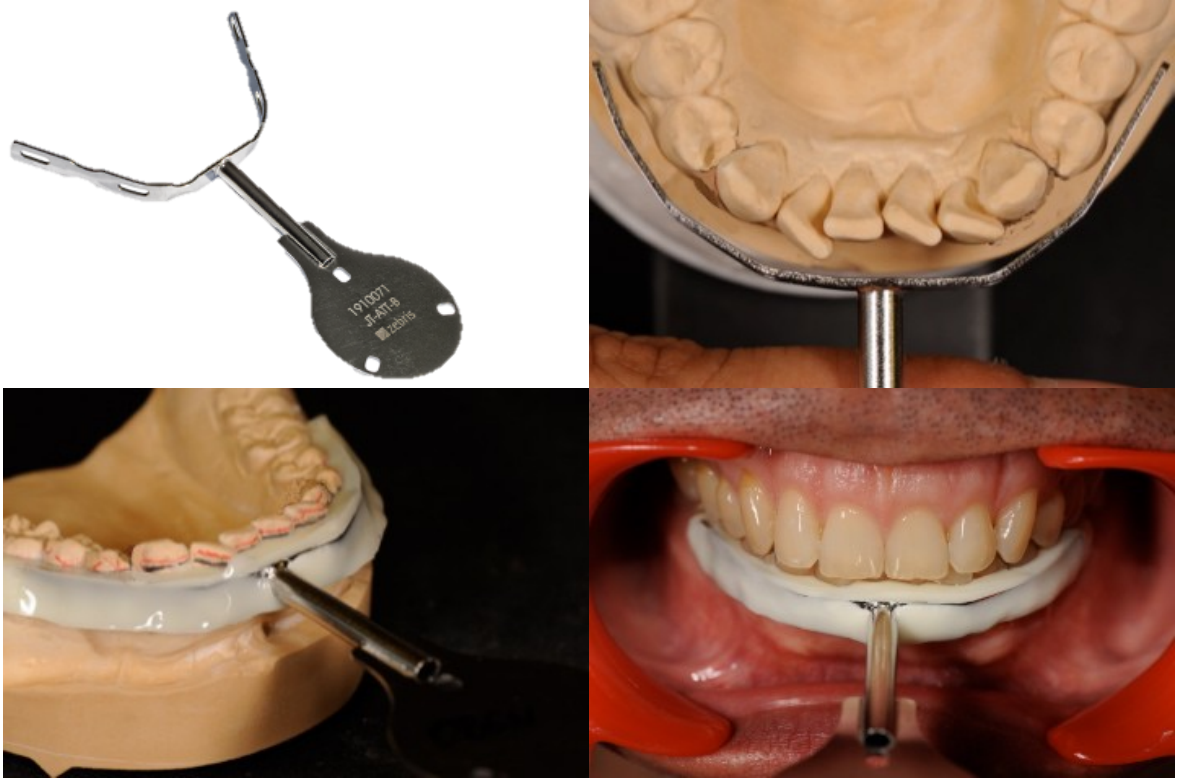


図 1: 歯科技工士マイスター・Hans-Jürgen Joit (Linie Düsseldorf)

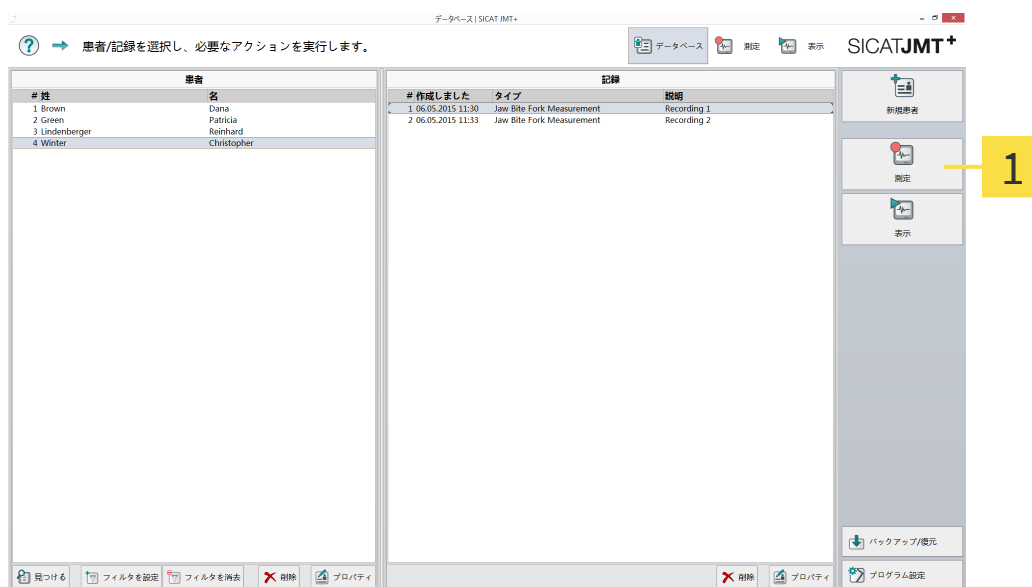
パラ・オククルーザルアタッチメント90 を患者に固定しておきます。これは下顎歯列弓に合わせておられ、光硬化または常温重合の合成物で補足され、この材料の形成段階に歯の表面に順応して硬化します。

この時、上顎の歯の接端面は、かみ合った状態で顎が正常に動くように、パラ・オククルーザルアタッチメント90 に接触していません。作製は、歯科技工室または歯科医院で行います。

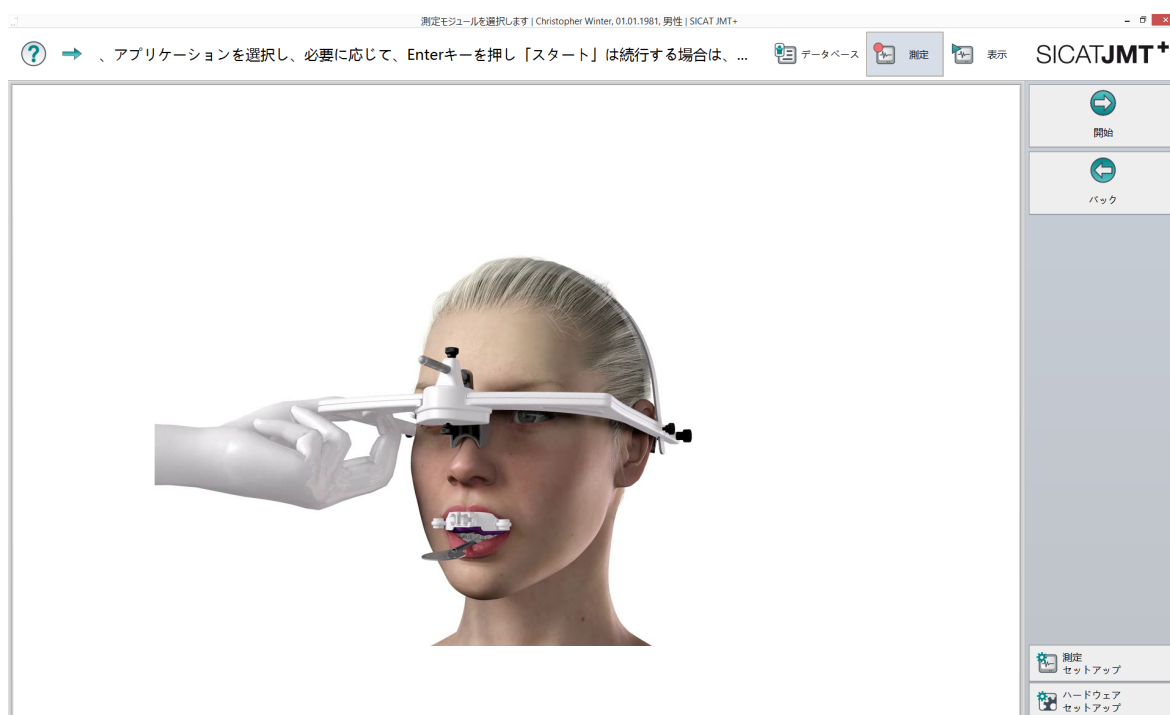


SICAT Fusion Bite は、測定前、印象材で咬合に合わせています。そのため、SICAT Fusion Bite はまずマグネットプレートを使って印象材を上側に充填し、硬化のため、患者の上顎にセットします。その後、下顎でも同様の手順を実施します。

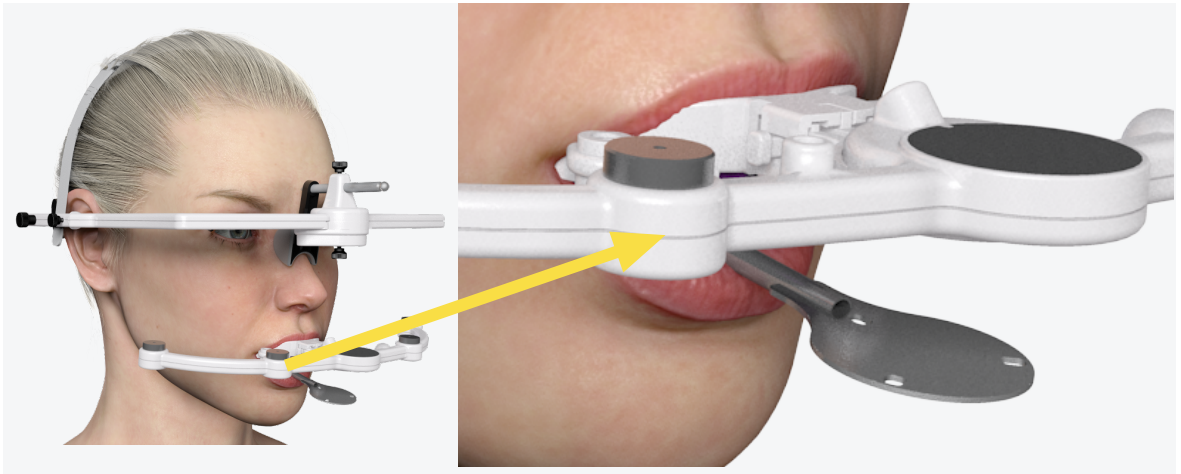
5.3 測定を実行する（測定モード）



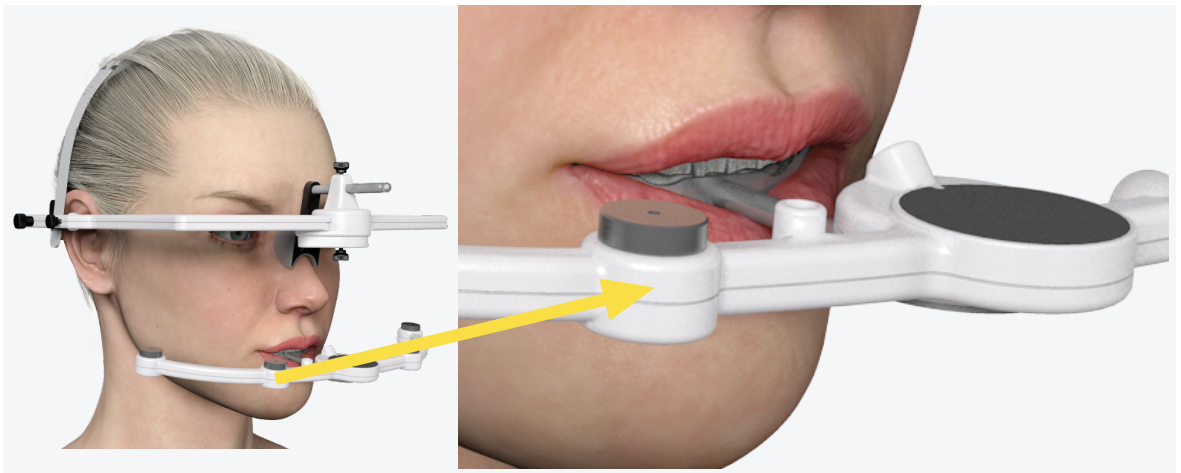
1 データベース - 右側の機能バーの **測定する** ボタンをクリックします。



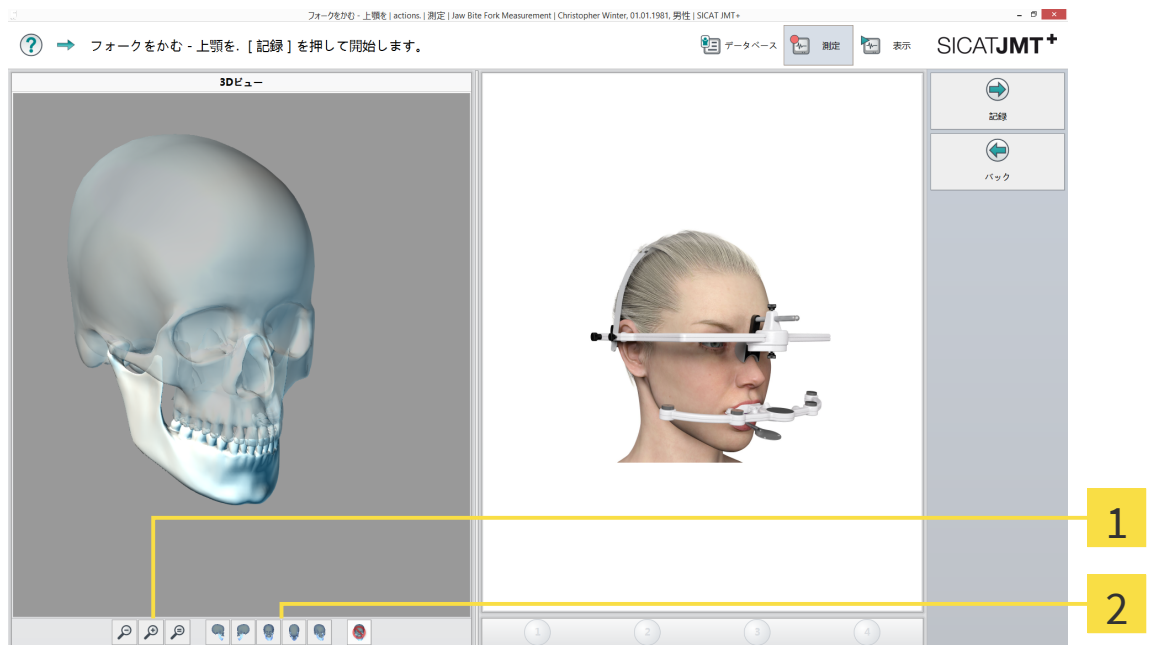
準備 - フェイスボウ 13Rタイプ を患者の頭部に確実にセットします。注意：白色のヘッドバンドは患者の頭蓋骨にセットされ、ノーズサポートは、肌に無理な力がかかることなくナジオンの部分にあります。灰色のネックバンドが患者に不快な力をかけないようにします。検査方法に応じて最初の位置に移動するよう患者に指示してください。



後のマッチング工程のため、患者は固定されたパラ・オクルーザルアタッチメント90に加えて、準備された SICAT Fusion Bite を咬合印象上の上顎と下顎の間セットされます。測定のため、下顎センサー 24Tタイプ が SICAT Fusion Bite アダプター にセットされ、測定する ボタンをクリックすると作動します。



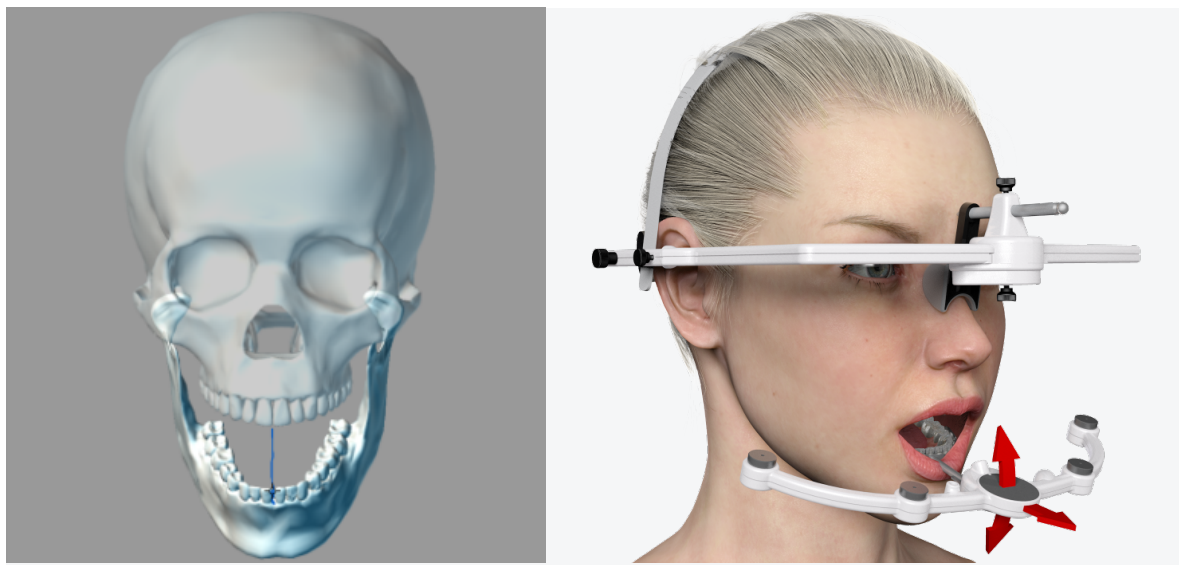
患者は咬合位置を保ち、SICAT Fusion Bite の SICAT Fusion Bite アダプター を取り外して、下顎センサーをパラ・オクルーザルアタッチメント90 に付け替えることができます。撮影 ボタンをクリックすると、測定が実行されます。



1 **ズーム機能** -ズームボタンは、頭蓋骨表示の拡大 (“+”シンボル) または縮小 (“-”シンボル) に使用します。ズームの前に3D表示へのリンクをクリックすると、ズームされるポイントが規定されます。“=”シンボルの付いたルーペは、図をウィンドウのサイズに合わせます。マウスホイールを回してズームを行うこともできます。この場合、表示された部分の拡大または縮小をマウスで行います。

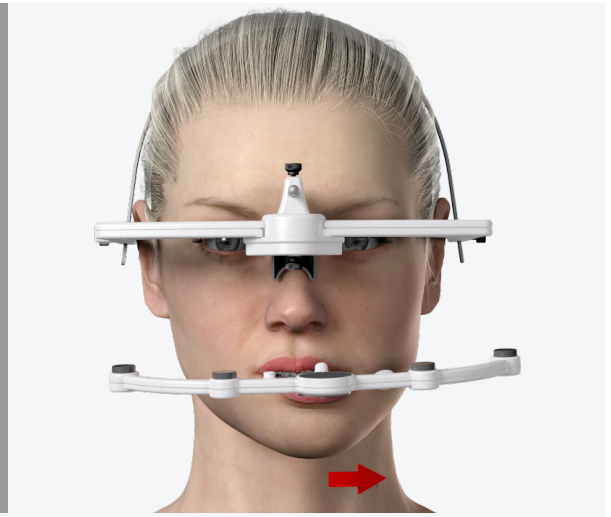
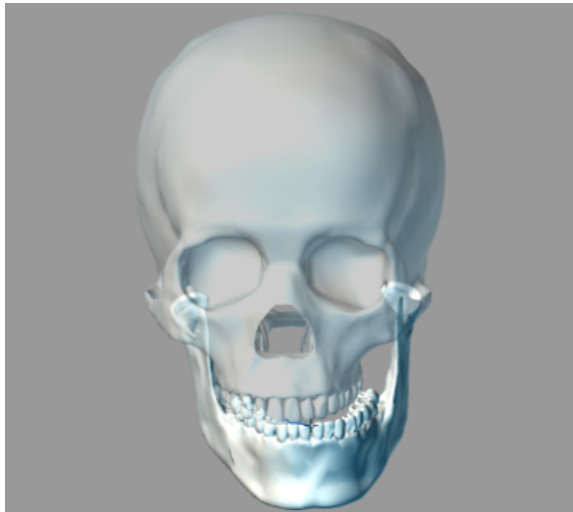
2 **側面図** - ズーム機能の横にあるボタンで、表示を選択することができます。

ライブプレビュー - ライブプレビューでは、測定値を保存することなく、運動を表示およびチェックし、患者に見せることができます。ライブプレビューにより、患者と一緒に特殊な機能運動を練習することもできます。この機能は、**プレビューを開始する** ボタンをクリックすると作動します。

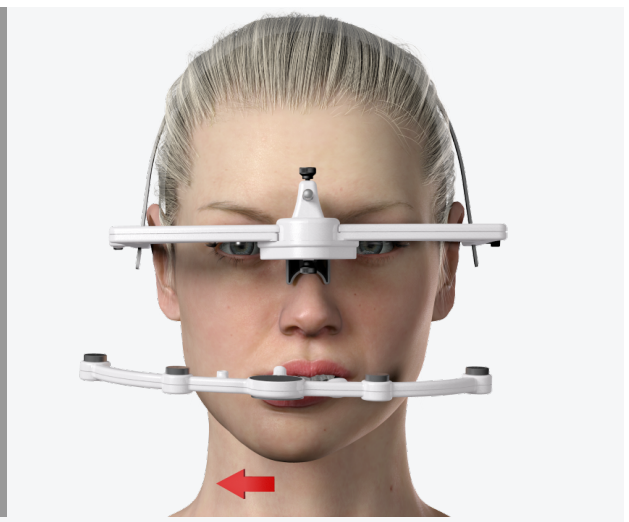
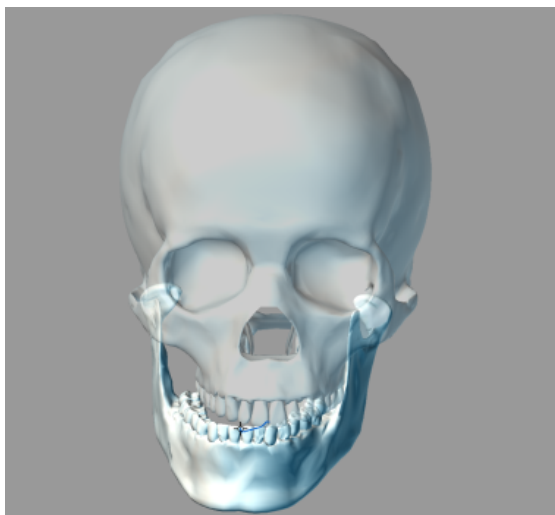


測定 - 運動パターンを **設定** メニューで最大4回まで繰り返し選択することができます。運動の選択と順序は、任意に変更することができます。

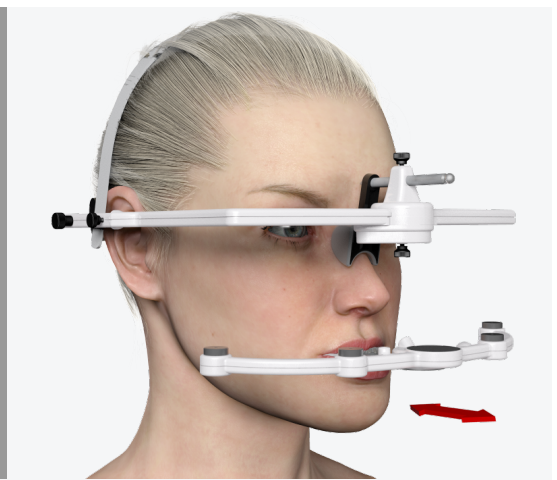
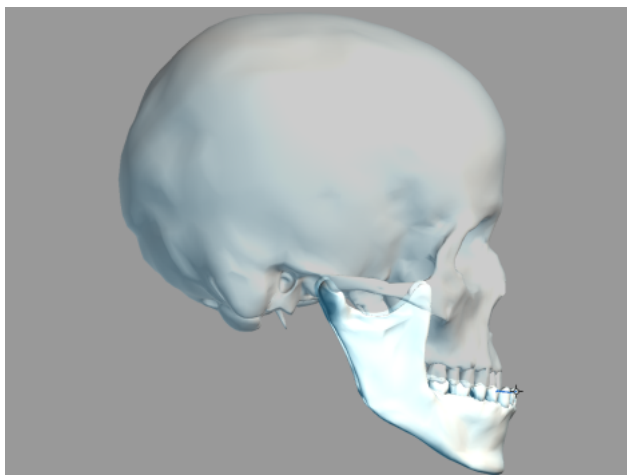
左側方運動



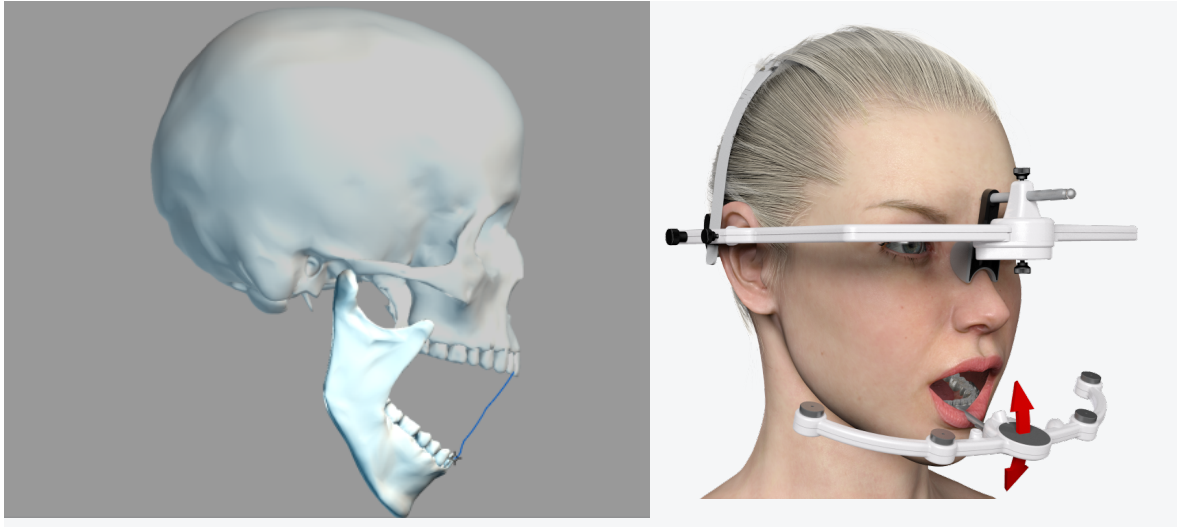
右側方運動



突出運動



開口運動



測定が終了すると、次のダイアログウィンドウが表示されます。

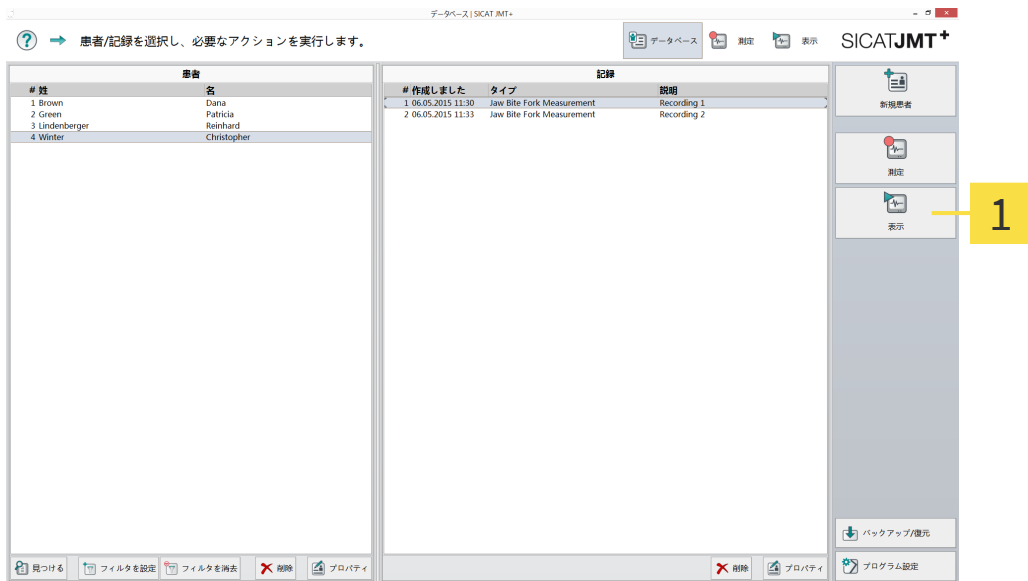


- 1** 保存して続行する - 撮影図は保存され、新たな測定を実施するためプレビューモードに戻ります。
- 2** 撮影を取り消す - 撮影図は破棄され、新たな測定を実施するためプレビューモードに戻ります。
- 3** 保存して閉じる - 撮影図は保存され、データベースに戻ります。

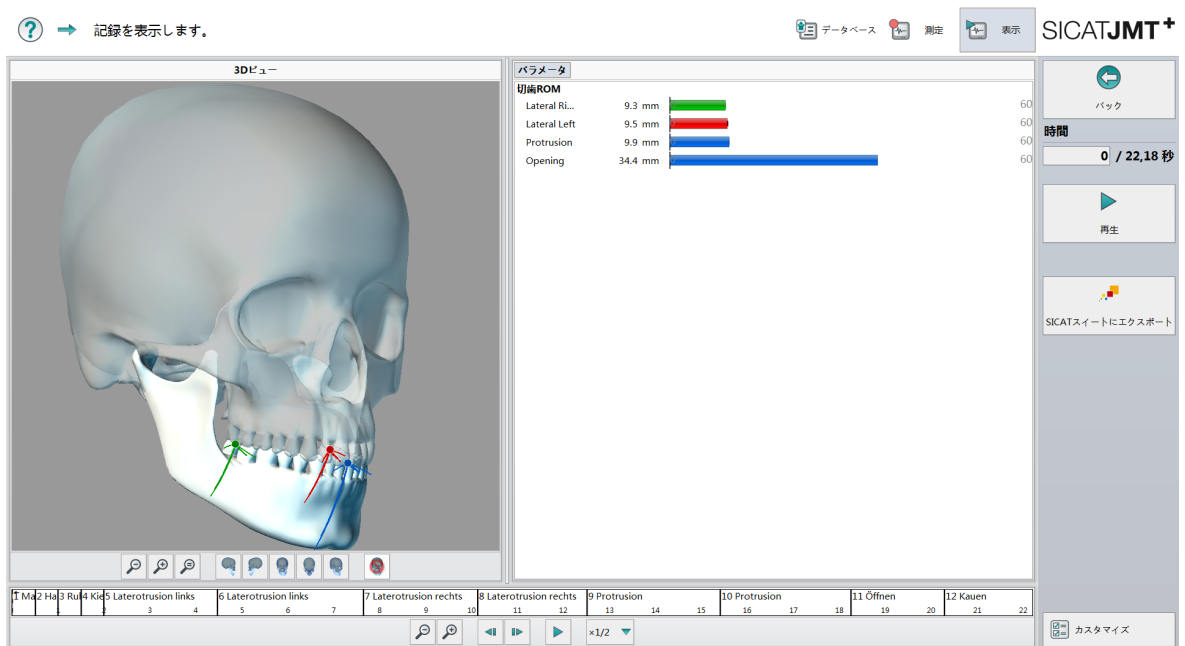
5.4 測定を編集する（表示モード）

ビュー モードでは、測定を閲覧、再生し、測定間隔を制限することができます。次に、表示モードの個々の機能について詳細に説明します。

5.4.1 基本事項



1 測定データセットを開く - データベースから測定データセットを選択し、右側にある機能バーの **ビュー** ボタンをクリックします。



再生モードの表示



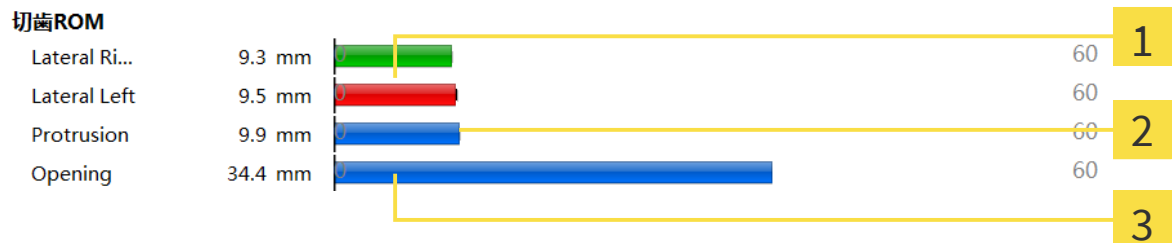
測定を再生する - 時間表示は、測定の現在の表示時間を秒単位で示しています。図示された頭蓋骨をアニメーション表示するには、右側の機能バーにある **再生** ボタンをクリックします。

戻る ボタンをクリックすると、データベースに戻ります。



スケジュール - ここには、表示された運動シーケンスの現在の時点が表示されます。スケジュールでは、運動フィールドをダブルクリックすることにより、運動を非表示または表示にすることができます。スケジュールの上に表示されるフィールドでは、ダブルクリックにより運動を非表示または表示にすることができます。ズーム (+) と (-) を使用して、特定の間隔の運動を選択的に閲覧および分析することができます。リアルタイム表示は、実際の**速度**の10倍または10分の1で再生することができます。

切縁 ROM の棒グラフ

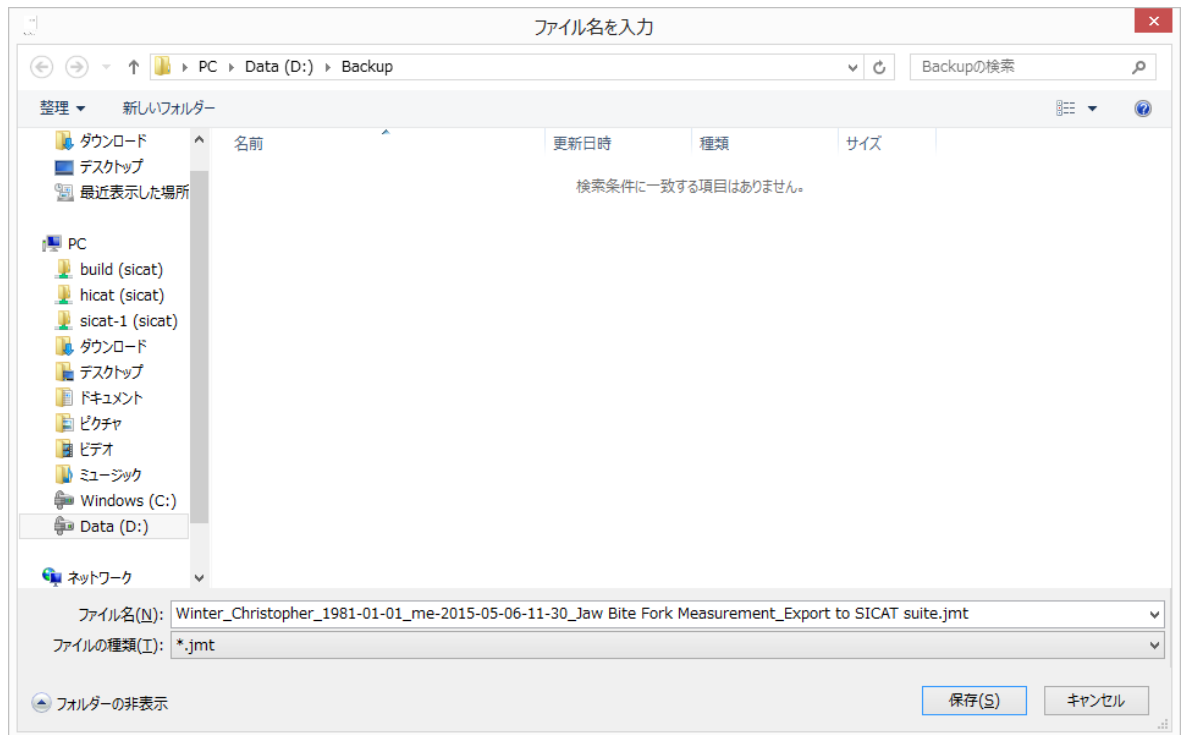


- 1** 側方転位
- 2** 前突
- 3** 開口運動

緑色のエリアは、健康な患者の運動範囲がある正常なエリアをマークしています。



データ転送 (xmlファイル) - 測定後、SICAT Suiteにエクスポート ボタンをクリックすると、ファイルが保存されます。



文書フォルダが開き、測定された運動データが、拡張子が*.jmtのファイルが保存されます。

6 トラブルシューティング

本項では、誤操作によって頻繁に発生するエラーメッセージをリストアップし、その際の解決策をいくつか紹介しています。エラーメッセージが表示された場合、当社のサポートに問い合わせる前に、本リストに記載されている解決策を実施してください。

本リストは完全であることを保証するものではありません。

6.1 一般

「3D表示できません。このグラフィックドライバはOpenGL 3.3(Irrlicht)に対応していません」

「3Dビューを作成できません(OpenGL x.y)」

考えられる原因	解決策
OpenGL 3.3に対応していない/グラフィックドライバが変更された	ソフトウェアのインストール中、使用するグラフィックハードウェアがソフトウェアを正しく実行するために必要なOpenGL 3.3に対応しているかチェックされます。インストール後にこのエラーメッセージが表示された場合、グラフィックチップが2枚あるか、使用するグラフィックドライバが変更されている可能性があります。 グラフィックチップが2枚あるシステムは、大抵切り替えることができます。ドライバを変更した場合、グラフィックドライバの更新を行ってください。

「USBからの読み取りが時間切れです」

考えられる原因	解決策
USBケーブルが接続されていない	使用する機器のUSBケーブルをPCに接続してください。
機器の電源がオンになっていない	該当するスイッチで機器の電源をオンにするか、電源経由で電流を供給してください。詳細についてはハードウェアの取扱説明書を参照してください。

用語集

SICAT JMT⁺

SICAT JMT⁺は下顎の動きを保存します。

索引

アイコン

はじめに	3
設定	20
一般設定	21
エクスポート設定	21
機器	24
カードリーダー	22
インストール	
デバイスドライバーを 手順	6 4
システム要件	4
USBドライバー	6
顎機能の測定	28
実行 (表示モード)	35
実行 (測定モード)	32
基本事項	37
準備する(患者)	30
準備	28
患者データベース	7
撮影図の詳細	15
撮影図	9
データフォーマット	20
データバックアップ	7
患者のプロパティ	12
機能	10
グループ	13
注意およびナビゲーション	7
コメント	13
新しい患者	11
患者ファイル	11
患者	8
バックアップ	16
テキストブロック	13
戻す	18
トラブルシューティング	39
一般	39
シンボル	3
システム要件	4
はじめに	3

お問い合わせ先



SICAT GmbH & Co. KG

Brunnenallee 6

53177 Bonn, Germany

TEL : +49 (0) 228 / 85497-0

FAX : +49 (0) 228 / 854697-99

Eメール : info@sicat.com

<http://www.sicat.com>

CE0197

資料番号 : 6532209

変更番号 : 000000

状態：2015-10-22

お問い合わせ先



メーカー

SICAT GmbH & Co. KG

Brunnenallee 6

53177 Bonn, Germany

CE0197

ソフトウェアサポート

SICAT GmbH & Co. KG

Brunnenallee 6

53177 Bonn, Germany

TEL : +49 (0) 228 854697-11

FAX : +49 (0) 228 / 854697-99

Eメール : softwaresupport@sicat.de

<http://www.sicat.de>



医療機器製造販売認証番号：227AABZI00055000

販売名：シーキャット JMT+

一般的名称：歯科用下顎運動測定器

分類：管理医療機器 特定保守管理医療機器

製造販売業者及び選任した製造販売業者

シロナデンタルシステムズ株式会社

東京都中央区銀座8-21-1

住友不動産汐留浜離宮ビル

外国特例認証取得者

Sirona Dental Systems GmbH

(ドイツ連邦共和国)

外国製造業者

SICAT GmbH & Co. KG

(ドイツ連邦共和国)

SICAT.

a **sirona** company